

九条の会

秋葉区「九条の会」事務局

新津教育会館内

新潟市秋葉区善道町2-9-44

Tel 0250-23-0764 Fax 0250-23-0764

<http://9jo.iinaa.net/index.htm>

22 回目 ウオロク交差点スタンディング

戦争法を許さない、私たちはあきらめない!

戦争法が強行採決されてからの2ヶ月目の11月19日、秋葉区9条の会など3団体が呼び掛ける平和行動が、ウオロク・リオンドール交差点で行われました。

60名以上が参加して、「私たちは、あきらめない」「戦争法は廃止」「野党共闘で参議院選挙を勝利しよう」などの意思表示をしました。

この日、全国各地で、平和憲法を守るための行動が行われました。



次回 ウオロク交差点 スタンディング
12月19日(土) 9:00~9:30 お集まりください!

低年金者(1000万人) 3万円支給…安倍内閣ぐるみの選挙買収

安倍内閣は、低年金受給者に対し、1人あたり3万円の給付金を配る方針を発表しました。毎年、年金を削りながら、7月の参議院選挙前に3万円を支給するのは、戦争法に怒る年金者をなだめるための術策に過ぎません。こうした露骨な選挙買収は許されません。

もし本当に年金者を支援するというのであれば、消費税10%増税を中止したり、毎年の年金削減計画を取りやめたりすることが先決です。

TBSの看板ニュース番組『NEWS 23』の岸井成格氏降板 安倍政権の言論介入は限度を超えている!

「戦争法は憲法違反」と論陣を張ってきた岸井成格に対する異様な個人攻撃が、11月15日、読売新聞に意見広告として載せられました。TBSは、こうした事態を受けて岸井氏の降板を決定しました。

元経産官僚・古賀茂明氏の発言、パリの同時多発テロに関する古舘伊知郎氏の発言を問題視し、政権ぐるみで一斉攻撃を仕掛け、言論界から追放しようとしています。

参議院選挙前に「テレビジャック」を図り、NHKについて民放の「アベチャンネル化」を図ろうとしています。安倍内閣の言論介入を許せば、日本の民主主義が危うい状況になります。



政治の流れを変える草の根の「9条の会」の運動と組織を

一つは、「戦争法の廃止を求める統一署名」2000万署名の運動(第一次集約4月25日)です。これは「市民の声を結集する運動です」、参議院選挙から18歳から選挙権があることも考えて、高校生にも働きかけること、「この署名をもらう際には、選挙も意識して『戦争法廃止をはっきり約束する候補者を当選させましょう』ときちんと呼びかけることが大事ではないか」「新潟県の目標40万人です。私たち9条の会が頑張らなければ目標達成が困難である」。地域9条の会の果たす役割が非常に大きいことを指摘し、全県9条の会の取り組みにすることを呼びかけました。さらに、会員・活動家の高齢化などの問題に触れながら、戦争法反対の運動では多くの人々が運動に参加してきている。特に若者や若いお母さん方の参加は大きな力になる。日本の未来に対し「大きな希望」を共有し、戦争法を廃止させる大きな運動を広げることと呼びかけました。

二つめに、署名運動を成功させるうえでも、地道な学習活動が非常に大事になっていることを強調し、憲法9条の理念、武力で平和は作れない、日本の国際貢献は平和外交にあることなど、地域で網の目の小集会・学習活動を強めることを呼びかけました。

三つめは、こうした活動を推進できる事務局体制や役員体制の強化が求められていることに触れ、様々な力を持った人に協力を求めること、「18歳、19歳の人達も飛び込むような、これまで経験したことのないような闘いを私たちはしなければならぬのです。そうしなければ勝てないのです」と「新しい挑戦」を呼びかけました。

——県9条の会ニュースより——

平和のメッセージ

秋葉区のすみずみまで響かそう、
皆でつなぐ、平和のメッセージを！

スタンディングに参加して

小柳 恵市 (柄目木)

「戦争法」の行きつく先は徴兵制だと思えます。実際自衛隊への希望者が激減しているという話を聞きました。小池・加茂市長もそうしています。こんな話をもっと大勢の人にしていけば、「戦争法」は廃止できるはずですよ。

そんなことを考えながらスタンディングをしていると、車の中から見ている人が「がんばれー」と言っているように思えました。がんばりましょう。

スタンディング寸描

渡部 久 (金沢町)

19日に毎回立ち、回を重ねるごとに参加人数が減るのでは？と不安になるなか、いろいろな人たちと「あ！手を振ってくれた」、「今の人は戦争法に反対だな！」などとかってな話しをしながら手を振っていると、自分自身もがんばろう、がんばらなければという気持ちになり、ファイトがわいてきます。

10月19日のときも、となりの男性と話をしていた。「うちの息子？(孫?)がフランスにいるが、憲法九条の素晴らしさはフランスの人たちもよく知っていて、パリを歩いていても安心していられると言っていた」。その話を聞いて私も外国旅行のときのことを思い出した。7月に孫のいるハンガリーに行ったとき、娘や孫たちとブタペストの街を歩いていると、体の大きなハンガリー人がツカツカとやってきて「ユー、コレアン？チャイニーズ？」と大きな声できいてきた。「ノーノー、ジャパニーズ」というと「オー、イエス、ジャパニーズ」といながら笑みをうかべながら、大きな手を差し伸べ握手をされた。憲法九条は日本人だけのものではなく、世界の人たちのものだと思えた一瞬でした。

インド独立の父、マハトマ・ガンジーの言葉から。「握りこぶしと握手はできない」「強さとは身体能力ではなく、不屈の精神から生まれるものだ」「もし私にユーモアがなければ、これほど長く、苦しい戦いには耐えられなかったでしょう」などなどを胸に秘め、戦争法反対！憲法九条を守れ！とがんばっていきたい。